

教科(科目)	国語（現代の国語）	単位数	2単位	学年(コース)	1学年全学科
使用教科書	三省堂『新現代の国語』				
副教材等	尚文出版『常用漢字ダブルクリア』、担当教員の配布するプリント				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

基礎的・基本的事項の定着のために、

- ① 様々な文章を読んで、語句を調べたり、漢字を覚えたり、文の意味を考えたり、筆者の主張を読み取ったり、自分の思いを作文に書き表したり、他者に言葉で伝え合ったりします。
- ② 国語の基礎力をつけるため、語句（漢字や語句の意味）の小テストを随時行います。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業の態度や、課題や発表などへの取り組みの観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・定期考査や小テスト などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の態度や、課題や発表などへの取り組みの観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・定期考査や小テスト などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の態度や、課題や発表などへの取り組みの観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観 点	評価方法
4	入門	1 「A 話 すこと・ 聞くこ と」	言葉と声 で表そう	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て想像力を働かせ、「せりふ」を考える。 ・気持ちが伝わるように言い方を考え、実際に声をだす。 ・ペア、またはグループでやりとりする。 	a b c	授業の取り組み ノート・ワークシ ート テスト 提出物
4 ・ 5	わかり合うた めに	1 「c 読 むこと」	伝え合い (コミュニケ ーション) に大事な ことを考 える	<ul style="list-style-type: none"> ・調査から、相手との伝え合いでは何が重視されているか考える。 ・相手との伝え合いの中で自分が重視していることは何か、考える。 ・考えたことを発表し合う。 	b b c	授業の取り組み ノート・ワークシ ート テスト 提出物
		4 「c 読 むこと」	鷲田清一 「届く言 葉、届か ない言 葉」	<ul style="list-style-type: none"> ・事例と考えとを区別しながら、三段落に分ける。 ・主張と事例の関係を捉え直す。 ・コラム「要約」と「要旨」を読み、本文の要約に挑戦する。 	a b c	授業の取り組み ノート・ワークシ ート テスト 提出物
5	確かな情報を伝 えるために	2 「A 話 すこと・ 聞くこ と」	「情報は つくられ る」	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書40ページの写真を見て、何の左心かを考え、ペア・グループで意見交換する。 ・「情報はつくられる」を読み、「情報はつくられる」とはどういうことか、発表し合う。 ・発表後、「情報はつくられる」とはどういうことかをノートにまとめる。 *コラム「メディアとのつきあい方」 	c c b	授業の取り組み ノート・ワークシ ート テスト 提出物
5	(中間考査)				a、b	
5	確かな情報を伝 えるために	4 「A 話 すこと・ 聞くこ と」	押井守 「ひとま ず、信じ ない」	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひとまず、信じない」とあるが、なぜ「ひとまず」なのかを読み取る。 ・情報と適切につき合う方法についてノート(ワークシート)に意見を書く。 ・発表する。 *学びを深める「情報と身体」 	b c c	授業の取り組み ノート・ワークシ ート テスト 提出物
6		5 「B 書 くこと」	「情報を 編集し、 的確に発 表する— パブリッ クスピー チ」	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を適切に扱うにはどうすればよいかについて、自分で調べた資料を加えながら、意見をまとめ、発表する。 	a b c	授業の取り組み ノート・ワークシ ート テスト 提出物
6	期末考査				a、b	

7 ・ 8	情報を生かすために	5 「B 書くこと」	片田敏孝 「人が死なない防災」	<ul style="list-style-type: none"> ・「正常化の偏見」と「認知不協和」について、自分の体験をもとに説明する。 ・筆者の考える、災害情報が避難に結びつかない理由を整理する。 ・『「逃げる住民」をどうやってつくるのか』という筆者の問いかけに対する自分の意見を提案する。 ＊コラム「わかりやすく伝える」	b a b	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物
		5 「B 書くこと」	矢守克也 「減災学をつくる」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えるハザードマップの問題点を整理する。 	a b	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物
8 ・ 9	よりよい読み手になるために	3 「C 読むこと」	飯間浩明 「読むことのレッスン」	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を比較して述べる方法の、長所と短所について考える。 ＊コラム「分けることの長所と短所」	a b c	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物
9 ・ 10	よりよい読み手になるために	7 「C 読むこと」	山崎正和 「水の東西」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が何と何を、どのように比較しているかに注意して読む。 ・対比的表現に着目し、筆者の考えを読み取る。 	a b	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物
10	中間考査				a、b	
10 ・ 11	場に応じて伝えるために	2 「A 話すこと・聞くこと」	「中身当てクイズ」	<ul style="list-style-type: none"> ・中身当てクイズの答えを考える。 ・ペア・グループ、クラスでクイズの答えとその根拠を交流する。 ＊学びを深める「マルジャーナの知恵」	b c	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物
	場に応じて伝えるために	6 「A 話すこと聞くこと」	「読み比べるーウミガメの無念」	<ul style="list-style-type: none"> ・AとBの文章を読み比べる。 ・それぞれの文章の特徴を、構成と表現に着目して比較できるようにまとめる。 ・グループなどで報告する。 	a b c	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物
11	説得力をたかめるために	2 「B 書くこと」	鷲田清一 「折々のことば」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が芦田愛菜さんの文章を引用した意図を推論する。 	b	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物
	説得力をたかめるために	6 「B 書くこと」	芦田愛菜 「宝探しみたいに本の世界へ入っていきます」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の「読書の楽しみ方」や「本との出会い方」をまとめる。 ＊学びを深める「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」	b	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物
11	期末考査				a、b	

12 ・ 1	考えを共有して いくために	5 「A 話 すこと・ 聞くこ と」	安田菜津 紀 「檻の中 の“街”」	・ p 1 5 2～1 5 3の写真を 見て、気づいたことを書き 出す。 ・文章を読み、写真だけで は伝わらなかったことを指 摘する。	b c	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物
1 ・ 2	よりよい書き手 になるために	1 2 「B 書 くこと」	田中真知 「ありの ままの世 界は見え ない」 鈴木孝夫 「ものと ことば」	・二つの文章を読み比べ、 共通しているテーマを見 つける。 ・二つの文章から考えたこ とを、具体的な事例を用い て書く。 ・書いた文章を批評し合 う。	a b c	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物
	学年末考査				a、b	
	まとめ	1 「A 話 すこと・ 聞くこ と」	「言葉で 世界を豊 かに」	・イラストを見て、感じた ことや考えたことをメモす る。 ・イラストにタイトルとコ ピーをつける。 ・クラスメイトと交流し、 各自の感想やタイトルにつ いてコメントし合う。	b b c	授業の取り組み ノート・ワークシート テスト 提出物

計 70時間 (50分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」	B「書くこと」	C「読むこと」
	21 時間	34 時間	15 時間

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

6 課題・提出物等

- ・月2回程度、漢字小テストを行います。副教材が範囲となりますが、詳しい範囲は別に連絡します。提出あり。
- ・単元ごとに、学習プリントや課題、振り返りの時間を設定しています。
- ・長期休業中は課題と課題テストがあります。

7 担当者からの一言

- ・とにかく1時間1時間の授業の取り組みが大切です。着実に力をつけられるように、理解の難しいところは、その授業で解決できるように取り組みましょう。
- ・受け身ではなく、自ら読んだり考えたり発したりするようにしましょう。
- ・時間に応じて作文等を書いたり、発表したりします。自由にのびのびと自分の思いを表現しましょう。

(担当:)